

大旦町会だより

東部地区

4年ぶりに開催した 「第10回大旦桜祭り」

新企画で盛り上がる



通行止めした桜並木に多くの方が集う

第114号

- 発行日
2023年5月14日
- 発行責任者
鳴原 久
- 編集・印刷
齋藤 鑿

4年振りの第10回大旦桜祭りは、日程の設定に大いに悩まされました。それに追い打ちを掛けるように、二日目の朝には真冬に逆戻りしたかのようなボッサボサの大雪に見舞われました。ソメイヨシノは葉桜でしたが、遅咲きの御殿場桜や八重桜が、何とか桜祭

りの体を保ってくれました。今回は桜土手を全面通行止めにし、衛生面からキッチンカーを導入し、今までと違った雰囲気を味わうことが出来、何とか成功裏に終わることが出来ました。町内皆様のご協力に心から感謝申し上げます。有難うございました。

■鳴原一雄実行委員長の開会宣言

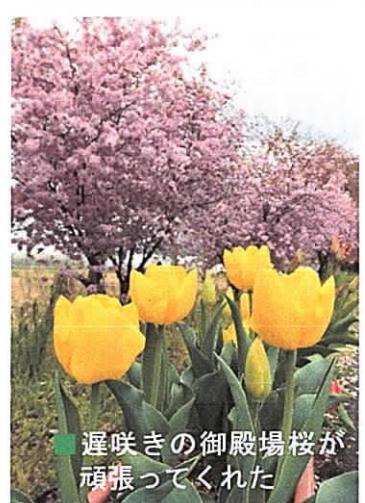


■2台のキッチンカーが大繁盛



開会式には太鼓愛好会「桜鼓会」の子ども達がお祝いの演奏で花を添えてくれました。開催中も適宜演奏を行い、お祭り気分を大いに盛り上げてくれました。来場した子ども達にはお菓子を無料提供し、喜んで受け取る子ども達の姿が印象的でした。キッチンカーには多くの方が列を作り、桜祭りらしい風景になりました。

町内の皆様から寄贈された鯉のぼりは気持ち良さそうに泳ぎ、会場を爽やかな雰囲気で包んでくれました。



■遅咲きの御殿場桜が頑張ってくれた

桜鼓会の子どもたち

頑張ってます



★裏方さん

ありがとうございます！ どんな行事にも目に見えない裏方さんの存在があります。その方達の頑張りが成功の鍵を握っていると言つても過言ではありません。今回多くの方々に頑張っていただき、有り難うございました。



【いらっしゃい！ 一人5個までOKでーす】



【消防団の皆さん、お世話になりました】



【あ～まよっちやうな～ どれにしようかな～】



← 第21班の齋藤正紀さんから頂いたチュウリップの球根が見事な花を咲かせ、桜祭りの会場に飾らせて頂きました。

今年は夏祭りも実施の方向で検討されています。是非夏祭りにもおいでください。

いの体に勝つのが好きだった。私がバトルに参加する時もあり、兄に取られることも少しがつた。私とすぐ上の兄は、いつも良く漬かつた白菜を細かく刻んで入れていたが、それがまた美味しいで、朝の食卓にはいつも沢山の納豆が入った大きなどんぶりがあった。いい端にバトルが始まる。まだどんぶりの底に残っているねばねばのタレの中にご飯を入れてかき回し、ご飯もどんぶりの納豆がなくなつた途に巴が大好きになり、そんな事で納豆が大好きになりました。本当に良いと思いました。当時を思

ういう事で、兄弟が多い我が家の中にはいつも沢山の納豆が入った大きなどんぶりがあった。いい端に巴が始まる。まだどんぶりの底に残っているねばねばのタレの中にご飯を入れてかき回し、ご飯もどんぶりの納豆がなくなつた途に巴が大好きになりました。私が巴に巴に程よく夕しが絡まつたご飯を食べながら、懐かしい思い出だ。そんな事が大好きになりました。当時を思

「納豆ばっぱ」の思い出
私が小学校の頃、大旦バス停の前にあつた齋藤商店の隣に、一人住まつたお婆さんがたくましく暮らしていました。本当の名前は忘れてしまつたが、巷では彼女のことを「納豆ばっぱ」と呼んでいた。

コラム

